

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 地方港湾 大竹港（小方地区）再編計画に係る調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 港湾 構造物基礎

ボーリング名	No.13	調査位置	広島県大竹市小方一丁目地先	北緯	34° 14' 06.9101"
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	令和5年11月 2日～ 令和5年11月 8日
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP -7.98m	角	180° 上 下 度	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	27.00m	度	0°	向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
使用機種	東邦地下工機D1-B		エンジン	ヤンマーディゼルNFD-10	
ポンプ	東邦地下工機BG-3C				

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 測定月日	標準貫入試験						試料採取 深 度 採 取 方 法	室内 試 験	削 孔 月 日
											深 度	100mm毎の 打撃回数	打撃ごとの貫入量	50 回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度			
1			砂	砂	rd1	褐灰			砂は粗砂が主体である。非常に緩い。礫はφ2mm程度が極少量混入する。貝殻片も多く混入する。含水比は高い。		1.15	1	300	1	1.15	P-1	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度	
2	-10.48	2.50				暗褐					1.45	1	300	1	1.45	P-2	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度	
3			砂混り粘土	砂混り粘土		暗灰			GL-4.00m付近まで粗粒分の含有はほとんど見られない。非常に軟らかい粘土である。均質で、粘性は強く含水多い。貝殻小片を全体的に多く混入する。混入する砂分の粒径は非常に細かい。		2.15	1	150	2	2.15	P-3	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
4						暗緑灰					2.45	3.00	ロッド自沈	0	2.45	T-1	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 湿潤密度、液性限界、塑性限界	
5											5.00	ハンマー自沈	0	5.00	P-4	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
6	-14.08	6.10				暗灰	rd2		砂は細砂～粗砂が主体である。礫はφ2～4mm程度が主体で、φ20～30mm程度が混入する。細粒分も多く混入する。		5.50			5.50	T-2	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
7			礫混りシルト質砂	礫混りシルト質砂		暗灰	rd2				7.15	1	2	5	7.15	P-5	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
8	-15.98	8.00				褐灰	rd3				7.45			7.45	P-6	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
9			礫混り粘土質砂	礫混り粘土質砂		褐灰	rd3		砂は細砂～粗砂が主体で、礫はφ2～50mm程度が混入する。細粒分を少量含む。		8.15	4	4	5	8.15	P-7	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
10	-18.18	10.20				茶灰					8.45	2	2	3	8.45	P-8	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
11	-18.98	11.00	シルト質砂	シルト質砂		黄褐灰			砂は細砂～中砂が主体である。細粒分を多く混入する。		9.15	2	2	3	9.15	P-9	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
12	-20.18	12.20	砂質粘土	砂質粘土		褐灰 暗灰			火山灰を少量、全体的に混入する。全体的に砂質シルト～シルト質砂へと遷移的に変化している。		9.45			9.45	P-10	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
13			粘土混り礫質砂	粘土混り礫質砂		褐灰	rd3		砂は粗砂が主体である。礫はφ2～20mm程度が混入する。細粒分も含まれる。		10.15	3	4	6	10.15	P-11	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
14	-22.28	14.30				黄褐灰					10.45			10.45	P-12	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
15			粘土混り砂礫	粘土混り砂礫		暗褐灰			砂は粗砂が主体である。礫は垂直礫であり、2～30mm程度が混入する。砂礫中の主たるマトリックスは、GL-15.50m付近の以浅では砂、以深ではシルト(腐植物を少量混入)へと変化している。GL-16.00m以深は部分的に細粒分が卓越している。		11.15	2	1	2	5	P-13	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
16						暗褐灰					11.45			11.45	P-14	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
17	-24.98	17.00	砂質粘土	砂質粘土		暗褐灰			腐植物を少量混入する。非常に硬質である。含水は少なく、粘性は低い。細砂～中砂の砂分も混入する。		12.15	3	7	17	12.15	P-15	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
18	-25.58	17.60				褐灰			砂は粒径幅が広いが、粗砂が多く分布する。礫はφ2～30mm程度が混入する。細粒分は少量含む。		12.45			12.45	P-16	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
19			粘土混り砂礫	粘土混り砂礫		暗褐灰					13.15	2	4	7	13.15	P-17	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
20	-27.68	19.70				黄褐灰	rd4		砂は微細～細砂が主体で、細粒分も多く含む。ホレット状に中砂を含む。礫は垂直礫で、2～5mm程度が多く混入する。		13.45			13.45	P-18	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
21	-29.48	21.50	礫混り粘土質砂	礫混り粘土質砂					砂は粗砂が主体である。		14.15	6	14	16	14.15	P-19	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
22						黄褐灰			礫は垂直礫で、2～30mm程度が混入し、最大は50mm程度である。		14.45			14.45	P-20	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
23			粘土混り砂礫	粘土混り砂礫							15.15	20	10	50	15.15	P-21	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
24	-31.98	24.00				淡緑灰 青灰			砂は細砂～粗砂で、粗砂が主体である。礫は垂直礫で、2～10mm程度が混入し、最大は40mm程度である。		15.40			15.40	P-22	⊙	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
25	-32.98	25.00	砂礫	砂礫							16.15	3	24	23	16.15				

